

重要情報シート（個別商品編）投資信託 回答例

以下は、重要情報シート（個別商品編）「質問例」に対する回答例としての当社における基本的な考え方を示しております。実際の回答は、お客さまごと、商品ごとに大きく異なることがあります。

1. 商品等の内容

あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らしてふさわしい根拠について、説明してください。

- ・ 当社は、お客さまの最善の利益を追求する企業風土を確立するため、「必ず最初にお客さまの意向を聞くこと、必ずお客さまの属性やリスク許容度に応じた提案をすること、必ずお客さまのフォローアップをすること」に努めることで、質の高い金融サービスを展開し、お客さまの満足度を高めることを掲げております。
- ・ そのため、お客さまの知識、経験、投資方針、資力等の属性及びライフプランや、リスク許容度をふまえ、お客さまの資産状況（ポートフォリオ）にふさわしい商品をご提案するよう努めております。
- ・ なお、投資信託におきましては、長期の資産形成目的でご購入いただくことがふさわしい商品のため、短期運用等を望まれるお客さま等、お客さまの投資方針及びライフプラン等に応じてふさわしい商品とはいえない可能性があるかと判断した場合には、お客さまとご相談のうえご提案を控えさせていただく場合がございます。
- ・ 詳しくは、当社ホームページ「お客さま本位の業務運営に関する方針」をご参照ください。
https://www.toyo-sec.co.jp/fiduciary_duty/index.html

この商品を購入した場合、どのようなアフターサービスを受けることができますか？

- ・ 当社では、販売後の長期的な視点でのフォローアップに努めるものとしております。
- ・ そのため、お客さまに対し、相場環境の変化や投資信託の運用状況等に応じて継続的な情報提供に努めています。
- ・ それを実行するため、投資信託委託会社による月次運用レポートのご提供や、相場急変時のアフターフォローとして、基準価額が前日比と比較して継続して大きく下落した場合や、分配型投資信託にかかる分配金に大きな変動があった場合のフォローレポートの提供等、お客さまに対するアドバイス等のサポートに努めております。
<https://www.toyo-sec.co.jp/trust/index.html>
- ・ 以上のほか、当社ではセミナーやイベントも随時開催しております。当社のセミナー情報は当社ホームページで公開しております。
<https://go.toyo-sec.co.jp/seminar.html>

この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがありますか？

- ・ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合として、投資信託におきましては「ファンド・オブ・ファンズ」があります。「ファンド・オブ・ファンズ」とは、複数の投資信託を投資対象とする投資信託のことです。
- ・ 通常の投資信託は、複数の株式や債券による分散投資を行います。が、「ファンド・オブ・ファンズ」は、複数の投資信託に投資することとなるため、主なメリットとしては、通常の投資信託を上回るリスク分散効果により運用の安定性を高める効果が期待されます。また、いろいろな運用会社の投資信託を買い付けることができるため、リスクを低減する効果も期待されます。
- ・ なお、デメリットとしては、「ファンド・オブ・ファンズ」を購入することは、実質的に投資信託を複数購入するということになるため、信託報酬等の費用が、通常の投資信託よりやや割高になる傾向があります。
- ・ 当該ファンドが、「ファンド・オブ・ファンズ」であるかどうかは当該ファンドの目論見書もしくは重要情報シートにて、ご確認ください。

2. リスクと運用実績

上記のリスクについて、私が理解できるように説明してください。

・保有する投資信託の基準価額の変動要因等については、目論見書の「投資リスク」の箇所をご覧くださいと、詳細な説明をご覧ください。

相対的にリスクが低い類似商品がありますか？あればその商品について説明してください。

・当社のホームページにおいて、「取扱商品」⇒「投資信託」⇒「TOYO投資信託ツール Fund Station」⇒「地域」及び「タイプ」を指定して検索いただくことで、同一分類の投資信託をご確認いただけます。

3. 費用

私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してください。

・投資信託の購入時のお申込手数料は、お申込価額に、手数料率（税込み）を乗じて得た額となります。商品ごとの手数料については、目論見書の「手続・手数料等」をご覧ください。

・また、投資信託を保有している期間中は、投資信託を管理・運用するための費用としての信託報酬をご負担いただきます。信託報酬につきましては、ファンドの純資産総額に対して年率〇%という形で日々計算され、差し引かれます。

費用がより安い類似商品がありますか？あればその商品について説明してください。

・当社のホームページにおいて、「取扱商品」⇒「投資信託」⇒「TOYO投資信託ツール Fund Station」⇒「地域」及び「タイプ」を指定して検索いただくことで、同一分類の投資信託の費用をご確認いただけます。

・費用の詳細につきましては、各投資信託の目論見書にてご確認ください。

・また、この商品と同種の資産に投資するインデックスファンドの類似商品であれば、費用が安い場合がございます。

4. 換金・解約の条件

私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

・投資信託の換金時には、換金手数料や信託財産留保額がかかる場合があります。

・各投資信託の購入・換金申込不可日においては、購入・換金のお申し込みの受付を行いません。

・海外に投資する商品や、海外市場が休場日の場合においては、換金のお申し込みが出来ないこと等があります。

・ファンドの規模および商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間制限および金額に対して制限を行なう場合があります。

・また、投資信託を短期間で解約した場合には、保有期間あたりの購入時手数料が長期間保有と対比すると割高となります。詳細につきましては、「販売手数料に関するご説明」をご確認ください。

・なお、換金・解約に関する事項の詳細は、目論見書の「手続・手数料等」でご確認いただけます。

5. 当社の利益とお客様の利益が反する可能性

あなたの会社が高得手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていませんか？

・当社では、業績評価上におきまして、特定の投資信託の販売に対する高い評価等の評価制度や、資産アドバイザーに対する報奨金制度等の取組みは行っておりません。

・また、当社は、「お客さま本位の業務運営に関する方針」

・https://www.toyo-sec.co.jp/fiduciary_duty/index.htmlに基づき、誠実・公正義務を遂行し、お客さまの最善の利益を追求するため、利益相反が生じないよう努めております。

私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっていますか？

・具体的には、当社が定める「利益相反管理方針」

・<https://www.toyo-sec.co.jp/profit/index.html>に基づき、コンプライアンス部門がお客さまとの利益相反が生じていないかの確認を行うなど適切に管理を行っているほか、役職員に対して継続的な研修を実施するとともに、お客さまの最善の利益の追求のための行動が役職員自身の評価にもつながるような評価方法を導入しております。

(詳細は、上記「お客さま本位の業務運営に関する方針」をご参照ください)